

企業团组织目標管理シート（重点目標）

年 度	令和6年度
組織名	新潟東港地域水道用水供給企業団
組織の目的	水道用水供給事業の適切な運営とともに、効率的で透明性のある経営を推進し、安全・安心な水の安定供給を継続的にを行い、受水団体及び当該地域住民から信頼される水道を目指します。

No.	重点	視点	目 標	指 標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由等	評価	
				項 目	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標					R6結果
1	1	受水 団体	水道ビジョンを果たすためのマスタープランの実践を基本として企業団施設の維持管理・更新を適切かつ効果的に実施するとともに、施設の耐震化を図り、事故・災害に強い水道の構築を進めます。また、弾力的な運転管理により、24時間継続した安定供給を行います。	浄水場施設耐震化率 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	R05＝11／22 R06＝11／22	・2号送水ポンプ更新工事 ・送水管更新設計業務（紫雲寺線その1） ・水質連続計器更新更新工事 ・二系天日乾燥床築造第三期工事 ・No.1濃縮槽機械設備更新工事 ・紫雲西部調整池UPS更新工事	目標を達成しました。	3
				調整池施設耐震化率 (%)	30.8	30.8	30.8	30.8	30.8	R05＝4／13 R06＝4／13			
				浄水場事故による断水件数 (回)	0	0	0	0	0	・危機事象対応マニュアル ・水安全計画			
2	2	受水 団体	水質検査結果の信頼性を確保するために水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)の堅持と更なる検査技能の向上に努めます。 また、国が定める水道水質基準よりもさらに厳しい観点から水質管理を行います。特に水道用水の品質を維持する上で注意すべき項目（重点項目）を定め、水質管理を行います。	品質管理システムを適切に運用し、水道GLP認定を継続的に維持する。また環境省外部精度管理結果において第1群評価を得る（目標達成率:100%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	・外部研修会参加と内部研修実施 ・水道GLPの適切な運用 ・水質管理に関する調査・研究等 ・環境省外部精度管理参加 ・水質検査計画、水質異常対策計画作成 ・重点項目を目標値を定め管理 ・臭気度試験の強化	概ね目標を達成しました。	2
				重点項目毎に、独自目標値を定め、年間を通じ浄水水質が目標値内に収まるよう適切な頻度で検査、管理する。（目標達成日数/365日＝100%）	100.0	100.0	100.0	100.0	99.7	—			
3	3	財務	適正な起債充当により、起債残高の著しい増加を抑制します。経費削減などの取組みを継続し、内部留保資金の確保を図ります。 施設の更新・耐震化事業に当たっては、既存の一般会計からの出資債制度を最大限活用するなどして、財源の確保を図ります。	起債残高（百万円）	1,377	1,264	1,145	1,026	1,026	—	・長期債借入残高及び内部留保資金の適正管理	目標を達成しました。	3
				資金不足比率(%)	△ 275	△ 280	△ 282	△ 250	△ 250	R12年度までの中期財政計画及び経営戦略に基づく	・工事費等コスト縮減 ・出資等既存制度の活用 ・事務事業の見直し,経費削減	目標を達成しました。	3
4	4	人材	企業団事業に必要な知識や技術の習得・継承を目的に、Web開催を含んだ外部研修への参加と内部研修を実施します。また、異常時の迅速な対応のため、危機管理を想定した訓練の実施と運転操作マニュアル等の作成を継続し技術の向上と情報の共有を図ります。	外部研修（回）	16	14	14	15	17	外部研修（Web含）の積極活用	・若年者の資格取得等研修への積極参加 ・内部研修の継続 ・危機事象対応マニュアルに応じた対応訓練 ・運転操作マニュアルの作成	目標を達成しました。	3
				内部研修（回）	14	17	17	16	17	内部研修の充実			
				訓練実施回数(回)	1	1	1	1	1	—			
5	5	業務	水道工事の建設副産物の再利用に努め、地球環境保全に配慮した水道事業運営を進めます。 多岐にわたる総務係業務の適正かつ効率的な執行により、時間外勤務の縮減を図ります。	再生路盤材使用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	再生クラッシャーラン砕石RC-40	・再生材の継続的な使用	目標を達成しました。	3
				年間一人当たり時間外勤務数(総務係職員)	7.3	16.8	40.0	36.0	79.2	適正かつ効率的な事務処理及びシステム活用による時間外勤務の縮減	・業務見直し ・各システムの運用管理	目標未達成 研修派遣による1名減（4名→3名）の中、協働に努めました。	2

取り組みについて（目標設定・ウェイト付けの考え方など）	取り組みの結果について（評価を踏まえた課題分析・方向性など）
・新水道ビジョンを果たすため、マスタープラン2021（令和3年度から5年度の前期評価後見直し版）に掲げた施策を着実に推進します。 ・安全な用水供給のために適正な維持管理を引き続き実践し、安定供給に繋がります。 ・安全、強靱、持続を実現するため、水道用水の供給を目的とする水安全計画を着実に実行するとともに異常時対応訓練により、非常時に備えます。 ・財政基盤強化、健全経営の向上のために新規起債の制限と利益の確保に努めます。 ・人材の育成と技術の継承を多様で豊富な外部研修（Web含）及び内部研修等により図ります。	・全体的には今年度の組織目標を達成することができました。 ・企業団水道ビジョンを果たすため、基本施策を着実に推進し、マスタープラン（2021：前期評価後見直し版）に基づく更新・耐震化を実施しました。 ・安全、安心、安定供給については施設の適切な維持管理と運転管理を水安全計画を拠りどころとし、適切に実施出来ました。 ・将来の事業安定継続のため、起債の制限、事業効率化と経費削減により利益を計上し財源確保につなげました。 ・人材育成については、Web開催受講等を積極的に活用し外部研修及び内部研修ともに目標を達成しました。また、OJT等工夫を凝らし進めました。